

# はにわ通信

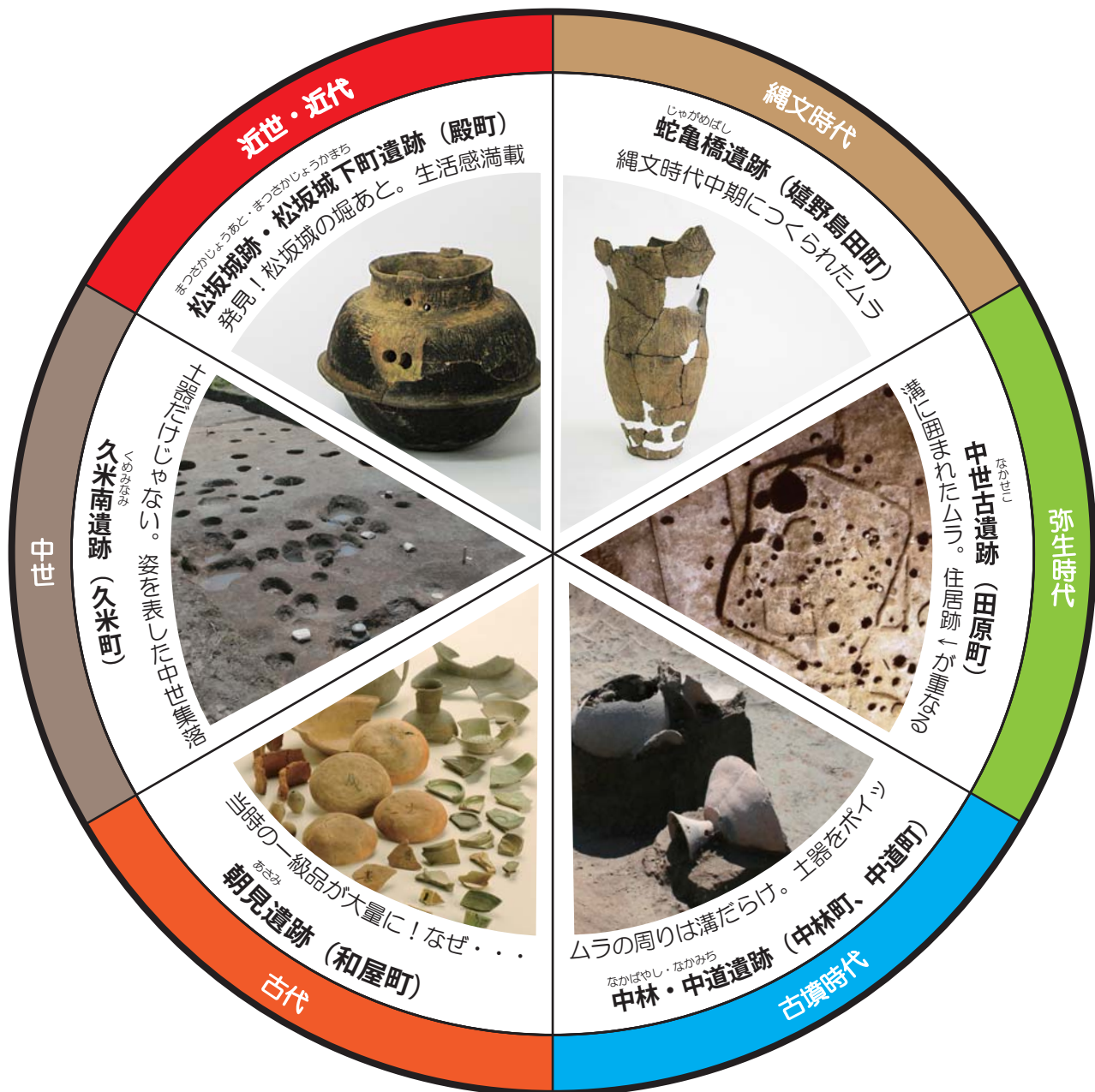
No.215 平成 25 (2013) 年 2 月号

松阪の歴史が  
ギュッとつまった  
展示です。



## 【近年の発掘調査】

平成 25 年 2 月 2 日より、はにわ館企画展「松阪からこんなのでました♪'09→'12」を開催します。どんな遺跡が紹介されるのか、少し垣間みてみましょう。



この他にも、西肥留遺跡 (肥留町、西肥留町) や佐久米地区出土のハニワなど、多彩な展示品でみなさまをお待ちしています。(担当)

## 【梅花の季節】

雪梅 ほうがく  
梅ありて 雪なければ 精神ならず  
雪ありて 詩なければ 人を 俗了す  
薄暮 詩成つて 天 又た 雪ふる  
梅と 併せ作す 十分の春



く梅が咲いても雪がふらないと、風景が生き生きした勢いあるものにならない。雪があっても詩の心がおきなくては、せつかくの風景もつまらないものになる。夕暮れには詩もできあがり、ちょうど空に雪もちらつきだした。梅と雪と詩の三つがそろって、これで春のおもむきを十分に味わうことができる。>

梅のたよりに春のおとずれがかんじられる季節になりました。梅の花は早春の雪のなかで花をつけ、寒さにたえて清らかな香をはなちます。そのすがたに心ひかれた人は少なくありません。

寒梅 新島 裏  
庭上の 一寒梅、笑って 風雪を侵して 開く。  
争わず 又 力めず、自ずから 百花の魁を 占む。

早咲きの梅が、きびしい風や雪の寒さをものともせず笑うがごとくに開いている。ほかに咲く花とあらそうこともなく又、りきむこともなくそれでいていつのまにか、あらゆる花の第一番目となって咲いている。謙虚ななかに意志のつよさをひめた、寒梅によせる作者の思いが伝わります。余談ですが、新島邸の庭には梅の木がうえてあり、新島夫妻は梅の花をみるのが好きだったといわれています。又、彼は妻を寒梅にたとえた歌ものこしています。

めづらしと 誰か見ざらん 世の中の 春にさきだつ 梅の初花 裏

文化財センターのある鈴の森公園の梅林も、そろそろ見ごろをむかえる季節になりました。ご案内のとおり、はにわ館企画展「松阪からこんなのでました'09→'12」も始まりました。この機会に文化財センターへおでかけになられてはいかがでしょうか。(所長)

方岳 南宋 (1127 ~ 1279) 時代の詩人 (南宋の盧梅坡の詩という説もある)

**文化財センター はにわ館 & ギャラリー 2月の催し物予定**


2月の休館日は、4日(月)・12日(火)・18日(月)、25日(月)です。  
開館時間は9時~17時です(入館は16時30分まで)。

**【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料)**

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」  
第2展示室 ■企画展「松阪からこんなのでました♪'09→'12」 2/2(土)~3/24(日)  
★ミュージアムトーク(展示解説) 2月2日(土) 13:30~14:00 \*事前予約は不要です。

**【ギャラリー】 入場無料**

第3G ■松阪美術協会「第15回新春展」 1/27(日)~2/3(日) \*最終日は16:00まで  
第1G ■陶壇の会「作陶展」 2/3(日)~2/10(日) \*毎日10:00から、最終日は16:00まで  
第2・3G ■南勢地区高等学校美術展 2/10(日)~2/17(日) \*最終日は15:00まで  
第1・2・3G ■公民館まつり作品展示会 2/22(金)~2/24(日) \*毎日16:00まで



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)